

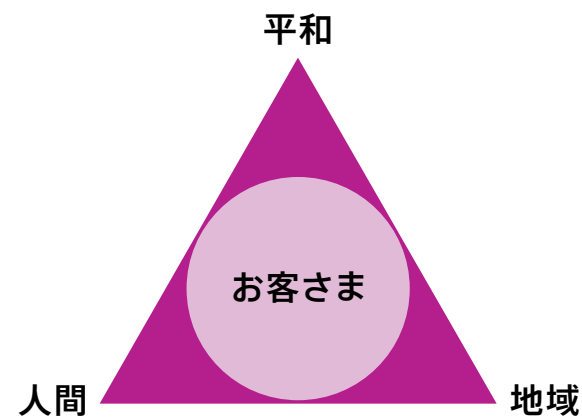
AEON

2022-2023

COMPANY PROFILE 会社案内



お客さまを原点に平和を追求し、
人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオン (AEON) とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。
私たちの理念の中心は「お客さま」: イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、
最もお客さま志向に徹する企業集団です。

「平和」 イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。
「人間」 イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。
「地域」 イオンは、地域の暮らしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

イオンは基本理念のもと、**絶えず革新し続ける企業集団**として、
「お客さま第一」を実践してまいります。

イオンは創業以来、「お客さま第一」を実践し、
お客さま満足の実現と、継続的な企業価値の向上を目指してきました。
これからも事業の原点であるお客さまから信頼され、
期待される存在であり続けるため、「絶えず革新し続ける企業集団」として
変化を先読みし、即応する企業風土づくりに取り組んでまいります。

過去にない規模の社会環境の変化を、
飛躍的成長の機会と捉える。



ステークホルダーの皆さまには平素より格別のご高配を賜り
厚く御礼申し上げます。

イオンは、「絶えず革新し続ける企業集団」として、いつの時代も
世の中の変化を成長機会と捉え、変化するお客さまのニーズに
お応えするとともに新しい市場を創出することで、常に「お客
さま第一」を実践してまいりました。一方、長引く新型コロナ
ウイルス感染症の影響をはじめ、気候変動、不安定な国際情
勢、様々な物価上昇圧力の高まりなど、社会全体で厳しさを
増す変化が数多く起こっております。

日々の暮らしに不安を感じる人が増えている時代だからこそ、
直面する社会課題の解決に貢献することが、我々の大きな使
命だと考えております。

2021年、「デジタル」「商品」「健康」「地域」「アジア」という
5つを重要な柱とする中期経営計画を策定し、グループ各社で
様々な取り組みを開始しました。

EC市場の追い風を捉えたネットスーパー事業の拡大、レジに
並ばないお買物体験の提供、AI活用による業務プロセスの
刷新といったDX推進をはじめ、イオンにしかない独自の価
値を提供するプライベートブランド商品の開発強化、新業態
開発も含めたヘルス&ウエルネス事業の推進、イオン生活圏の
構築を見据えた事業(企業)再編、今後も大きな経済成長が
見込まれるアジア各国への事業展開加速など、5つの柱に
沿った変革を通じて、成長基盤確立に向けた歩みを進めて
います。

こうした事業変革に加え、イオンがこれまで30年以上に渡って
取り組んできた植樹活動をはじめとする環境・社会活動に
ついて、商業施設で使用する電力の再生可能エネルギーへの
転換や、プライベートブランド商品に使用する資材を環境配
慮型のものにするなど、脱炭素、循環型社会の実現に向けた
施策を一層強化し、豊かで持続可能な地域社会の実現に
貢献してまいります。

イオン株式会社
取締役 代表執行役社長

吉田昭夫

イオンの5つの変革

～地域の豊かさに貢献し続ける企業集団へ～

新型コロナウイルス感染症の拡大により、お客さまの生活様式や地域のあり方など、様々なものが大きく変化しました。

イオンは、この環境変化を機会と捉え、2030年のありたい姿の実現に向け、中期経営計画を策定。5つの変革と環境活動を成長戦略の中心にすえました。

これらを推進することで、持続的な成長を支える事業基盤を確立し、地域の豊かさに貢献し続ける企業でありたいと考えています。

2030年のありたい姿

「イオンの地域での成長」が
「地域の豊かさ」に結び付き、
循環型かつ持続可能な経営

地域の価値を高めることに貢献



イオンの成長を期待・応援

2030年のありたい姿の実現に向けた「5つの変革」

5つの変革

- ① デジタルシフトの加速と進化
- ② サプライチェーン発想での独自価値の創造
- ③ 新たな時代に対応したヘルス&ウェルネスの進化
- ④ イオン生活圏の創造
- ⑤ アジアシフトのさらなる加速



イオンのサステナブル経営

1

デジタルシフトの加速と進化

お客さまを起点としたデジタルとリアルが融合されたお買物体験を提供



イオンネクスト㈱が2023年度にCFC(顧客フルフィルメントセンター)を千葉市誉田に開設予定

イオンのネットスーパーは、お客さまが、お買物にとられていた手間や時間を節約できるよう、従来からの配送に加え、ドライブピックアップや受け取りロッカーの設置など、お客さまのニーズにお応えする注文方法の改善を行い、新しいサービスを展開しています。特に、お子さまをお持ちのお客さまから高い支持をうけ、利用者が拡大しています。さらに、イオンネクスト㈱は、英国Ocado社と連携し開発する次世代オンラインスーパーマーケットとして、千葉市誉田に最新のAIロボットを駆使した最先端の大型自動倉庫の建設に着工。2023年度に開設を予定しています。また、東京都八王子市にもイオンモール㈱と併設型で計画をしており、今後もより一層、高まるお客さまニーズに応えていきます。



お客さまのお買物をより便利にするため、キャッシュレスニーズに応えた、非接触の支払いサービスを展開しています。イオンのトータルアプリ「iAEON」は、ポイントを貯めることや、AEON Payでお支払いすることができ、スマートフォンひとつでお会計を済ませることができます。また、レジでの待ち時間を解消させる「レジゴー」は、専用スマートフォンやアプリをダウンロードしたお客さまのスマートフォンで利用することができます。スキャンした商品と合計金額が常に画面に表示されるので、合計金額もひと目でわかり、カゴの中身がわかりやすく、レジでのお会計がスムーズになるサービスです。使える店舗は、全国にぞくぞくと増えています。

小売業発のテック企業として 業界の課題解決をリード



ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス㈱では、自社で開発した店舗経営のデジタルサービス「イグニカ(ignica)」を外販する試みも始めています。これまでは、デジタル技術をテック企業から購入する側でしたが、小売業の枠を超え現場をよく知る我々がテック企業の一員としてサービスを提供する側へと事業領域を踏み出しています。



リテールテックJAPAN 2022に出展。小売企業やPOSベンダーなど多数が来訪され好評を博す

共通デジタル基盤の整備を進め 経営効率とサービスの向上を目指します

お客さまと接する機会を増やすことや、魅力ある売場の構築など、お客さまの満足度をより高めるため、既存業務のさらなる生産性の向上を目指しています。最先端技術を取り入れたAeon Digital Management Centerを設立し、専用アプリやデジタルプラットフォームなどを自社開発し、従業員の働き方の改革に取り組んでいます。



中国では、先行してアプリ開発を行い、サービスの向上に生かしています

2

サプライチェーン発想での独自価値の創造

お客さま第一を原点とした商品開発で発展してきたトップバリュ



お客さまの暮らしに
ソリューションを提案し続ける
新価値創造ブランド



トップバリュ
プレミアム生ビール

原料に希少なドイツ産ホップを使用し、製造方法に手間暇をかけ、華やかな薫りと心地よい余韻を実現したイオン初のプレミアムビールです。



自然環境の持続可能性を追求する
オーガニック＆ナチュラルブランド



トップバリュ グリーンアイ
オーガニックオートミール

化学合成農薬や化学肥料などに頼らない原料を使用しています。本商品では有機原料を使用し、クセのない食べやすいオートミールです。



お馴染みのメーカー商品以上の品質で
地域いちばん価格を目指す満足品質ブランド



トップバリュベストプライス
ラベルレス天然水

ラベルを省きプラスチックごみ削減による環境負荷の削減とコストダウンを実現しました。

「お客さまの普段の生活をよりよく」との思いから、自ら企画・開発したイオンのプライベートブランド「トップバリュ」。商品の企画・設計段階から製造委託先の選定、商品仕様の決定、製造管理、販売に至るまで、お客さまの視点で商品づくりに取り組んでいます。そんなイオンだからこそ、世界的な原料・原油価格が高騰する中、食料品と日用品の価格据え置きを実施しました。これは「お客さま第一」の理念のもと、お客さまに寄りそうことが最も重要であると考えたからです。これからもイオンは、お客さまの暮らしを応援し続けます。

もっと“植物由来” Vegetive

ベジティブ

“ヘルシーとおいしさをどちらも叶える新しい食のカタチ”を提案する植物代替食品シリーズの品揃えを増やしています。お客さまの健康志向や環境問題への意識の高まりに応え、大豆を使用しながらも本物のお肉のような美味しさを追求しています。



4

イオン生活圏の創造

お客さまとのつながりを深め、ともに創造する生活圏



2022年4月オープン「イオンタウン旭」は、官民連携のプロジェクト「みらいあさひ」が形となった地域のコミュニティ拠点



㈱カスミによるウエルシアホールディングス㈱との新しい取り組み1号店「BLANDEつくば並木店」



2022年3月にイオングループとなった「フジ四国中央店」を核店舗とした「イオンタウン川之江」

各エリアにおいて、新たな価値を創造する地域密着型経営を推進するため、グループ企業の再編や経営統合を進めています。お客さまの地域・地元を豊かにしたいというニーズに応えるため、地域の拠点となり、お買物だけでなく、多様な事業や店舗網とデジタルをかけ合わせ、事業者・行政とも連携しながら、それぞれの「地域に根差したイオン生活圏」を構築していきます。

3

新たな時代に対応したヘルス＆ウェルネスの進化

お客さまの暮らしと健康を支えるリーディングカンパニーへ



ドラッグストア店内の相談コーナーで専門人材による薬や健康に関するアドバイスを実施



ドラッグストアを核店舗に病院と併設型の「イオンタウン幕張西」



フランスのボタニカルビューティブランド「イヴ・ロシェ」を国内独占販売

お客さまの健康に対する意識は、治療や疾病予防に留まらず、未病領域である健康維持や、心の健康であるウエルビーイングに拡大しています。イオンでは、その多様なニーズを満たすため、専門性や独自性を高め事業の枠を超えた店舗・商品・サービスの提案を行っています。ウエルシアホールディングス㈱は、調剤併設店舗の増加や積極的な新規出店、デジタル化を推進した店舗業務の効率化、薬剤師などの専門人材の適正配置などの成長戦略が奏功し、ドラッグストア業界初の売上高1兆円規模を達成しました。今後も、地域の健康拠点を目指しさらなる成長を加速させます。



薬剤師がお客さまの健康相談により注力できるよう、調剤の自動化を進めています

5

アジアシフトのさらなる加速

真のローカライズによって実現するイオンのアジアシフト



2021年10月グランドオープン
インドネシア「イオンモール セントゥールシティ」



2022年4月オープン
ベトナム「マックスバリュエクスプレス オーシャンパーク店」



マレーシアで初となる「デジタルバンクライセンス」をイオンフィナンシャルサービス㈱とイオンクレジットサービス(マレーシア)が取得

中国・アセアンにおいて、リアルとデジタルの両輪で、地域に合わせた事業モデルで成長スピードを加速させています。特に成長著しいベトナムを最重点国と設定し、マルチフォーマットによる出店の加速や独自商品の開発を進め、現地に根付いた企業を目指しています。これからも、店舗、商品、デジタルを中心に力を注ぎ、地域ニーズに対応する真のローカル企業となることを目指しています。

イオンのサステナブル経営

～地域とともに豊かな未来へ～

イオンは、「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指すサステナブル経営を推進することが企業としての使命だと考えています。

中長期かつグローバル水準の目標を定め、店舗や商品開発はもちろん

お取引先さまも含めたサプライチェーン全体で

環境・社会課題の解決に取り組んでいます。

Sustainable Planet
環境



太陽光パネル導入店舗は、累計1,048店舗、創電能力は約7万1,000kW（2020年度実績）

資源循環・食品廃棄物

イオンは、限りある資源を有効活用するため、店舗・商品・サービスを通して、お客さまとともに循環型のライフスタイルの定着を目指しています。使い捨ての見直しやムダの削減、環境に配慮した素材への切り替え、店舗を拠点とする資源循環モデルの構築などを進めています。



イオンの店舗で回収したペットボトルを使用した飲料を展開

脱炭素・気候変動

イオンは、「店舗」「商品・物流」「お客さまとともに」の3つの視点で省エネ・創エネに取り組んでいます。太陽光発電やEVステーションの設置など、店舗で排出する温室効果ガスを総量でゼロにする脱炭素社会の実現を目指し、グループを挙げて取り組んでいます。

「イオン 脱炭素ビジョン」（2021年7月改定）

中間目標	達成目標
2030年までに店舗使用電力の50%を再生可能エネルギーに切り替え	2040年までに店舗で排出するCO ₂ 等を総量でゼロ



電気自動車充電
ステーション設置数

国内外に
251店舗 2,708基

国内2,140基、海外568基
（2021年2月末時点）

持続可能な調達

イオンは、自然資源の持続可能性と事業活動との継続的発展の両立を目指し、持続可能な調達に取り組んでいます。調達の原則と方針を策定するとともに、MSC認証、ASC認証、オーガニック認証、フェアトレード認証など、グローバル基準に沿って生産された商品を積極的に展開しています。

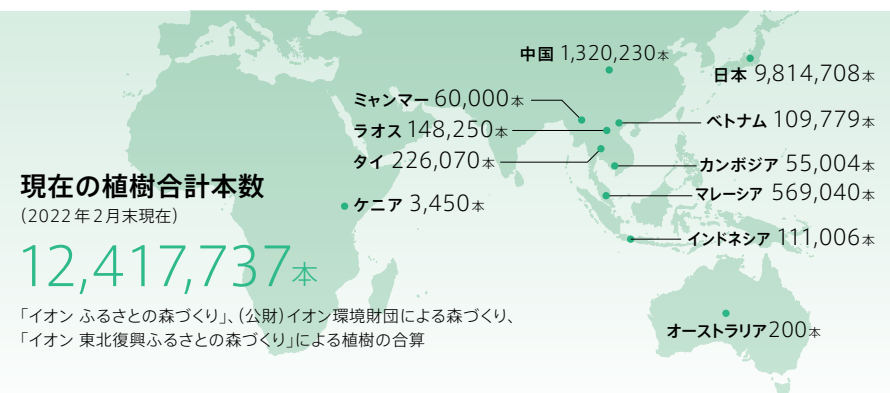


MSC認証29魚種、ASC認証12魚種（2022年2月時点）



イオンの基本理念を具現化する植樹活動

イオンは、新店舗がオープンする際にお客さまと店舗の敷地内に地域の環境に合わせた木を植える「イオン ふるさとの森づくり」を1991年から実施しています。お客さまとともに植樹した樹木は30年の時を経て、豊かな生態系を育む森へと成長し、地域の皆さまのコミュニティの場としても愛されています。



Heartful Community
地域

イオンは、企業市民として地域社会をパートナーと位置づけ、地域の人々や行政とともに、コミュニティの発展と生活文化の向上に貢献する街づくり・絆づくりに取り組んでいます。



「ご当地 WAON」

ご利用金額の0.1%をイオンが寄付し、地域の活性化にお役立ていただける電子マネー「WAON」。写真の「首里城WAON」の寄付金は、首里城の復興などに活用されます。



「イオン ウクライナ子ども救援募金」

イオンはあらゆる戦争に反対する姿勢を明確にし、2022年3月からウクライナの子ども達を救援するため、募金を実施しました。



「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

毎月11日に発行される黄色いレシートを、応援したい団体のボックスに投函するとレシート合計金額の1%相当の品物がボランティア団体に寄贈されます。

Healthy & Empowered People
健康・人

イオンは、誰もが自分らしく生きていける人生のサポートに取り組んでいます。国籍や年齢、性別に捉われず、意欲ある人が平等にチャレンジできる環境を整えています。また、従業員が幸せであってこそお客さまに幸福をもたらすサービスが提供できると考え、健康経営を推進しています。

イオンの健康経営宣言

イオンは、従業員と家族の健康をサポートします。そして、従業員とともに地域社会の健康とハビネスを実現します



イオンの健康経営

従業員が心身共に健康であることは、ヘルス＆ウェルネスの推進や従業員満足の向上などを実現し、かつ医療費やリスクマネジメントの観点からも重要であると考えています。



「認知症サポーター」のマーク

認知症サポーターの養成

シニアのお客さまの増加を見越し、従業員が適切なサポートを実践できるよう「認知症サポーター」を養成。日本国内企業最大規模となる累計8万1,468人（2022年2月末）となりました。

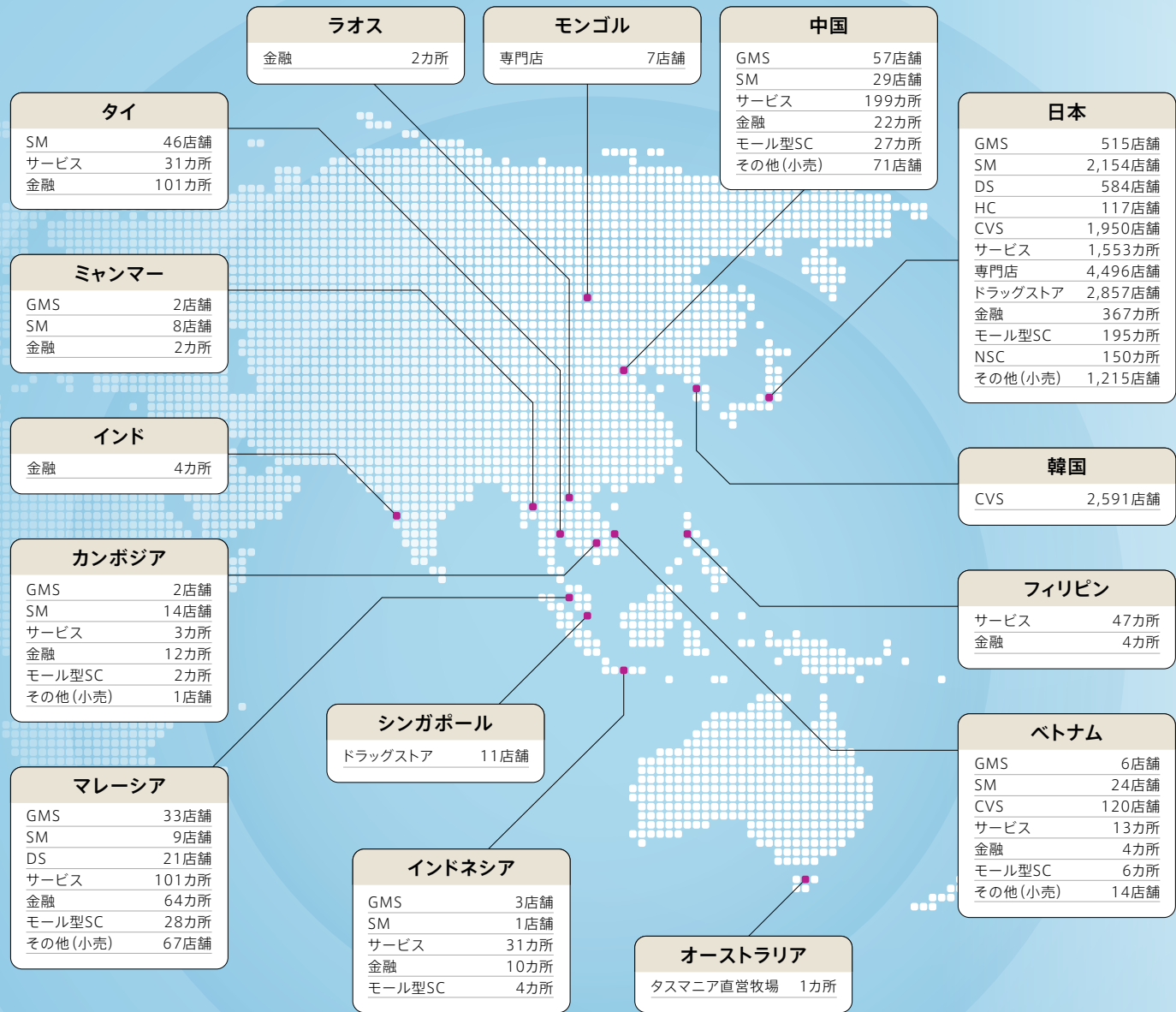


「第8回「ダイ満足」アワード」で受賞した株式会社ファンタジー（2021年度）

ダイバーシティの推進

イオンは、ダイバーシティの推進を経営戦略の一つとして捉えています。2014年から社内のベストプラクティスを共有する場として「ダイ満足」アワードを開催し、グループ全体の水準を高めることを目指しています。

アジアに広がるイオン



事業展開する国

年間延べお買物客数

店舗数

15カ国

約44億人

20,008店舗／カ所

GMS(総合スーパー)	618店舗	サービス	1,978カ所	NSC(近隣型ショッピングセンター)	150カ所 ^{※3}
SM(スーパーマーケット)	2,285店舗	専門店	4,503店舗	その他(小売)	1,368店舗
DS(ディスカウントストア)	605店舗	ドラッグストア	2,868店舗	タスマニア直営牧場	1カ所
HC(ホームセンター)	117店舗	金融	592カ所		
CVS(コンビニエンスストア)	4,661店舗 ^{※1}	モール型SC(ショッピングセンター)	262カ所 ^{※2}		

連結子会社、持分法適用関連会社の店舗および拠点数

※1 2022年3月29日に韓国ミニストップの全株式の譲渡を行いました ※2 名称が「イオンモール」のSCに加え、総賃貸面積20,000㎡以上ものを含む ※3 名称が「イオンタウン」のNSC(2022年2月末時点)

数字で見るイオン

営業収益 8.7兆円	グループ従業員数 約56万人	店舗数 20,008店舗	イオンカード等会員数 うち海外会員数1,723万人 約4,732万人	電子マネー「WAON」 累計発行枚数 (2022年3月末時点) 約9,113万枚	イオンフィナンシャルサービス 決済取扱高 約8.3兆円
植樹合計本数 約1,241万本 地域に密着した取り組みとして1991年から「イオン ふるさと の森づくり」を開始。以来、イオンの基本理念を具現化する活動と位置付けています。	幸せの黄色いレシート キャンペーン 累計贈呈金額 約46.2億円 2001年の開始以降、20年間に支援した団体は延べ約39万8,000団体(2021年度)のほります。現在では、中国、カンボジア、タイでも実施しています。	レジ袋削減枚数 (2021年度) 約32億枚 約30年にわたり買物袋持参運動に取り組んでいます。2007年からレジ袋無料配布中止を呼びかけ、多くのお客さまにご支持いただいています。	ご当地「WAON」 累計寄付金額 23.2億円 地域貢献の内容は、各地の環境保全、観光・スポーツ振興、動物愛護に関するもので様々あり、162種類発行しています。	東北復興支援 従業員ボランティア 参加延べ人数 約41万人 2012年から被災地に従業員ボランティアを派遣し、現在では農業再生のお手伝いなど、地域の皆さまに寄り添った活動を進めています。	包括連携協定 130の自治体 日本各地の自治体(44道府県19政令市64市町3区)と協働し、地域の活性化や生活サービスの向上などに繋げる取り組みを行っています。

2022年2月末時点

主なグループ企業

純粋持株会社	イオン株	ディベロッパー事業
GMS(総合スーパー)事業 専門性の高い品揃えとサービスで、お客さまの衣食住をサポートする総合スーパーを展開しています。 イオン九州株 イオン北海道株 株サンデー イオンスーパーセンター株 イオン東北株 イオンバイク株 イオンペーカリー株	イオンリカー株 イオンリテール株 イオン琉球株 オリジン東秀株 清水商事株 トップバリュコレクション株 株ボンベルタ	日本及び中国・アセアン各国で地域と共生するショッピングモールを開発・運営。グループ各事業と連携しながら、サービスの提供や施設の充実を図っています。 イオンモール株 イオンタウン株 (株)OPA
SM(スーパーマーケット)事業 地域に密着したスーパーマーケット、小型店、コンビニエンスストアを展開。食品を中心に、毎日のくらしに欠かせない商品の品揃えとサービスの充実を図っています。 株フジ マックスバリュ東海株 ミニストップ株 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株 イオンサワール株 イオンマーケット株 株カスミ 株光洋	株ダイエー ビオセボン・ジャパン株 株フジ・リテイリング まいばすけっと株 マックスバリュ関東株 マックスバリュ西日本株 マックスバリュ北陸株 株マルエツ	サービス・専門店事業 毎日の生活を一層便利で快適にするサービスの提供と、お客さまの幅広いニーズに応える多彩なジャンルの専門店を展開しています。 イオンディライト株 株イオンファンタジー 株キャントゥ 株コックス 株ジフット アクティア株 株イオンイーハート イオンエンターテイメント株 イオンカルチャー株 イオンコンパス株 イオンペット株 イオンライフ株 プランシェ株 株プレスステージシューズ 株未来屋書店 株メガスポーツ メガベトロ株 リフォームスタジオ株 R.O.U株
DS(ディスカウントストア)事業 家計を応援し続けるために、商品仕入れの集約、物流の統合など、ローコスト施策を実施し、徹底的に低価格を追求する経営の実現に取り組んでいます。 イオンビッグ株 株ビッグ・エー	マックスバリュ南東北株	国際事業 中国・アセアン各国において、国や地域ごとに異なるニーズやライフスタイルに合わせた商品・サービスを提供しています。 【中国】 AEON Stores (Hong Kong) Co., Limited AEON (CHINA) CO., LTD. AEON EAST CHINA (SUZHOU) CO., LTD. AEON (HUBEI) CO., LTD. AEON South China Co., Limited BEIJING AEON CO., LTD. GUANGDONG AEON TEEM CO., LTD. QINGDAO AEON DONGTAI CO., LTD. 【ASEAN】 AEON CO. (M) BHD. AEON BIG (M) SDN. BHD. AEON (CAMBODIA) Co., Ltd. AEON ORANGE COMPANY LIMITED AEON (Thailand) CO., LTD. AEON VIETNAM Co., LTD DONG HUNG INVESTMENT DEVELOPMENT CONSULTANCY JOINT STOCK COMPANY LIMITED PT.AEON INDONESIA
ヘルス＆ウェルネス事業 地域の皆さまの健康をサポートするドラッグストア・調剤薬局を展開。医薬品や健康食品、日用品など、品揃えの充実に加え、在宅調剤などのサービス拡充に取り組んでいます。 ウエルシアホールディングス株 株イオンボディ イオンレーヴコスメ株 ウエルシア薬局株 金光薬品株 株クスリのマルエ	コスメーム株 シミス薬品株 株丸大サクラ中薬局 株よどや 株MASAYA	機能会社・その他 イオンのブランド「トップバリュ」での商品開発や品質管理、物流、システム、ITといったインフラ構築を担っています。 アビリティーズジャスコ株 イオンアイビス株 イオンアグリ創造株 イオングローバルSCM株 イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド株 イオンスマートテクノロジー株 イオントップバリュ株 イオンネクスト株 イオンフードサプライ株 イオンマーケティング株 コルドンヴェール株 株生活品質科学研究所 Aeon Digital Management Center AEON TOPVALU (CHINA) CO., LTD. AEON TOPVALU (HONG KONG) CO., LIMITED AEON TOPVALU MALAYSIA SDN. BHD. AEON TOPVALU (THAILAND) CO., LTD. AEON TOPVALU VIETNAM COMPANY LIMITED Tasmania Feedlot Pty. Ltd. ■ (公財)イオンワンパーセントクラブ ■ (公財)イオン環境財団
総合金融事業 クレジットカード、銀行、保険、電子マネー「WAON」を連携させた小売業発の総合金融サービスを提供。アジア各国においても展開しています。 イオンフィナンシャルサービス株 AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD. AEON CREDIT SERVICE (M) BERHAD AEON THANA SINSAP (THAILAND) PCL. イオン・アリアンツ生命保険株 株イオン銀行 イオンクレジットサービス株	イオン住宅ローンサービス株 イオンプロダクトファイナンス株 イオン保険サービス株 イオン・リートマネジメント株 フェリカポケットマーケティング株 AEON Financial Service (Hong Kong) Co., Ltd. AFS コーポレーション株	

太字は株式会社公開会社(2022年3月末時点)

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ



考える力、広い視野、思いやりの心を養い、
子どもたちの未来を育んでいきます。

1989年に創設を宣言し、1990年に設立。「お客さまからいただいた利益を社会のために役立てる」という想いのもと、イオングループ主要企業が税引前利益の1%相当額を拠出し、「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」を柱とする事業活動を行っています。

代表的な事業である「イオン チアーズクラブ」では、小学1年生から中学3年生までの子どもたちが集団行動を通じて社会のルールやマナーを学びながら環境・社会に関する様々な活動に取り組んでいます。この取り組みは、全国の店舗を拠点に活動しています。



次代を担う青少年の
健全な育成



諸外国との
友好親善の促進



地域社会の
持続的発展



<https://aeon1p.or.jp/1p/>

公益財団法人イオン環境財団



ステークホルダーの皆さまとともに、
地球環境の課題に取り組んでいます。

地球環境をテーマにした日本初の企業単独の財団法人として1990年に岡田卓也（イオン創業者／現名誉会長相談役）より設立。以来、ひとつしかない地球を次世代へ引き継ぐため、国内外の多様なステークホルダーの皆さまと連携し、植樹や助成事業、環境教育などの活動を継続して実施しています。

代表的な事業である「植樹活動」では、これまで世界各地で、地域ボランティアの皆さまとともに、伐採跡地や自然災害などで荒廃した森に植樹し、みどりの再生を実施してきました。近年では、森づくりに加え、地域づくり、人づくりにも取り組む「イオンの里山」の構築をとおして、持続可能な地域の実現を目指しています。



イオンの森づくり



助成



環境教育



パートナーシップ



<https://www.aeon.info/ef/>

イオン株式会社

本社 〒261-8515

千葉県千葉市美浜区中瀬 1-5-1

<https://www.aeon.info/>



印刷時に有害な廃液が出ない
「水なし印刷」で印刷しています。



VOC (揮発性有機化合物) 成分ゼロの
地球にやさしいインキを使用しました。

